



ば は ら

波原便り

県立辺土名高等学校
令和6年10月5日(土)
発行者 校長 桃原健次
第10号

学園祭「辺高祭」 10月5日(土)一学期から準備を始め、各クラス・部の生徒が協力し展示・バザー等に取り組んできました。約400人の来場者で大変賑わい、小さいお子さんからおじいちゃん・おばあちゃんまで来場して頂きありがとうございました。朝の開会式ではPTA副会長加藤様より激励の挨拶とジュシーのおにぎり(PTA予算より)の寄贈がありました。感謝!!

辺高祭の開催の目的は「日々の学習や活動の成果を発表する」及び「取組む中での課題解決を通して、思考力・判断力・表現力を向上させる」については「総合的な探究の時間」や「課題研究」の成果のポスター貼出や授業「郷土の音楽」及び軽音楽の演奏、食物部のお菓子販売等がありました。また「生徒間、生徒・職員間の信頼関係を深める」については、各クラス生徒・職員が協力し展示やバザー等を作り上げました。信頼関係が深まったと思います。「企画・準備・発表等の協働を通して、主体的に社会に参画する力の育成」についても、全校生徒・職員が力を合わせて「辺高祭」を成功させ、多くの保護者・地域の方に喜んでもらったことは目的を達成できたのではないかと考えています。 ※辺高祭の展示・バザーの様子は次号で紹介予定



総合探究合同発表会 9月26日(木)

本校では総合的な探究の時間を「環境と進路(未来をつかむ)」を全体テーマとしてグループで研究報告としてまとめ発表しています。1年生はやんばる地域で野外実習をし、石灰岩(辺戸岬)の植物、慶佐次川のマングローブ林の環境と生きもの等を観察しました。2年生は障害のある者もない者も生きやすい共生社会の形成について学ぶため、名護市の桜野特別支援学校とお互いの学校を訪問し共同・交流学习を行いました。3年生は海浜のクリーンアップ活動で拾ったゴミや写真を通して、環境保全・SDGsのイメージに繋げるアート作品、フォトポスターを作成し、その作品についてプレゼンテーションしていました。未来を創造する力をサブテーマに、自らの課題を発見し、情報の集め方・調べ方・まとめ方を学び、仲間と共同してまとめ発表する力を養うことを目的に取り組んできました。



尾瀬高校2年生との交流

9月27日(金)群馬県立尾瀬高校2年生が修学旅行の一環で本校を訪問し、自然環境科2年生と3年2名が案内しました。最初に校内の生きもの博物館を紹介し、その後やんばるの森の川登りと大保川での生きもの観察など野外を案内し、交流を深めました。お別れの会では、尾瀬高校の生徒から「やんばるの貴重な生きものを見ることができてよかった。案内ありがとうございました」とお礼の言葉がありました。

アースバトン in 霧島 (サイエンス部から5名参加) 9月21日(土)~22日(日)

九州各県の環境意識が高い高校生を対象とし、各県の環境分野で活躍する高校生らが交流を深めながら環境について学び、更なる環境に対する意識や興味を育むことにより、グリーン社会を担う次世代リーダーの育成を図ることを目的に九州地域戦略会議が主催する研修事業です。沖縄県の代表として本校から2年生2名・1年生3名計5名及び引率2名が参加しました。今回の研修では九電みらい財団による講義、間伐材を利用した箸づくり、VRによる間伐体験、グループに分かれ各県の抱える環境問題や課題の洗い出し、意見交換を行いました。今回の研修に参加した生徒達は自然環境科としての日頃の学び舎感じている課題を生かし、他県の生徒らと対話を通して自らの考えを深める良い機会になりました。



※波原便りは辺土名高校のホームページにて、過去号も含めご覧になれます。